

<b>施設名称</b>		[8] 東京都台東区立書道博物館				
<b>指定管理者の名称</b>		公益財団法人台東区芸術文化財団		<b>指定期間</b>	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2) 類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所					
(3) 経営状況	22年度決算 歳入 804,726,858円 歳出 762,325,465円 収支差額 42,401,393円 (区返納金22,401,393円次期繰越金 20,000,000円)					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区根岸 2-10-4					
(2) 設置目的	洋画家でもあり書家でもあった中村不折が開設した書道博物館は、開館以来60年にわたり中村家が運営してきたが、平成7年に区が寄贈を受けた。不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。					
(3) 利用者	区民ほか					
(4) 開館日・時間	開館日：休館日（月曜日／12月29日～1月3日／特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5) 規模	延べ床面積 1,032.38㎡（蔵）16.52㎡ RC造 平屋建（本館）247.93㎡ RC造 2階建て 第1～5展示室（中村不折記念館）764.83㎡ RC造 3階建て エントランスルーム、展示 フロアー、特別展示室、中村不折記念館、会議室、事務室など					
(6) 人員体制	10名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）財団嘱託員（1） 研究員（1）専門員（5）特例嘱託員（1）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	博物館資料の保管及び展示、博物館資料に関する調査及び研究などの事業 施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備等の事業。 施設使用料徴収などの事業。					
(2) 自主事業	施設特別展／企画展					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>
予算	委託料	46,999,000	47,133,000	45,768,000	44,484,000	42,285,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	46,999,000	47,133,000	45,768,000	44,484,000	42,285,000
決算	委託料	43,279,177	40,886,658	42,640,952	41,288,359	41,048,569
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	43,279,177	40,886,658	42,640,952	41,288,359	41,048,569
	収支	0	0	0	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>
開館日数		日	288	288	283	282
特別展・企画展実施数		回	6	6	6	6
<b>6. 成果指標</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>目標値 (24年度)</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>
入館者数		人	18,000	13,957	18,371	16,241

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

東京国立博物館と連携した特別展の実施や、近隣の子規庵や三平堂の相互入館割引の実施、他の博物館等へ所蔵資料の貸出しを行うなど、入館者数の増加やPRの強化に努めた。

**8. 評価項目** 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[3]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[3]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	東京国立博物館と連携を図った特別展の実施や魅力ある企画展を5回実施した。また、キッズセミナー&ワークショップ「うちわに古代文字をかこう」やワークショップ「木刻でスタンプを作ろう」を実施するなど、趣向を凝らした事業展開に努めた。
(2) 施設の維持管理	A	国の重要文化財に指定されている資料が12点あり、それらも含めた資料の管理には細心の注意を払っている。また、備品及び物品の管理は適切になされており、施設の維持管理については区と連携を取りながら、協定書に則し、管理を行っている。
(3) 利用者の満足度	S	台東区立書道博物館開館10周年記念の企画展を開催し、重要文化財、重要美術品を含む貴重な資料の展示を行い、利用者の満足度は高かった。また、音声ガイドの導入により、利用者へのサービス向上も図られている。
(4) 歳入歳出	A	予算については効率的な運営に努めており、概ね適切に執行されている。

**10. 総合評価** 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	漢字と書を中心とした収蔵品の特性を活かした事業展開が図られている。また、音声ガイドなどの利用者へのサービス向上も図られている。
-----------	---

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

魅力ある特別展等の開催や積極的なPRに取り組むとともに、リピーターや新たな入館者層の獲得に向けて工夫・検討を進めていく。